

## 保護者の皆様へ

### ◇新型コロナウイルス感染症による児童生徒のストレスとその対応について◇

学校においては、新型コロナウイルスの感染の拡大を防止するための臨時休校の措置が取られています。こうした状況の中で、子どもが抱えていると思われるストレスにとその対応についてお知らせします。

子どもは大人が考える以上に過敏で不安になりやすいことを理解し、安心感を与えることが基本となります。

#### (1) 未知で目に見えないウイルスに対する不安と恐怖

未知であるゆえに、不確かな情報が流れ、過度な緊張感を抱える恐れがあります。

正確な情報を選択するように心がけましょう。

特に子どもはテレビやネットなどから過度で過激な情報の影響を受けやすいので、情報収集に振り回されないことが大事です。同じような情報（刺激）を繰り返し受けることで、情緒がさらに不安定になることが分かっています。子どもの場合は、メディアからの情報を遮断することも必要です。

ヒント：不安になっている子どもには繰り返し安心感をあたえるような言葉かけを。

年齢が低いほど、情報は親が口頭で伝えるだけで十分です。大人も含めて、他の事柄に適度に気持ちを切り替えて過ごしましょう。

#### (2) 不安や恐怖による行動の変化

一部の品物の買い占めが起きているように、落ち着いた行動が大人でも難しくなっています。不安や恐怖から、怒りの感情がわき攻撃的になったり、気持ちが不安定になりやすいでしょう。その他、甘えが強まったり、具合が悪くなったり、眠れなくなったり、衛生面に過度に神経質になりすぎたりするかもしれません。まず、大人が落ち着いた言動を心掛けましょう。

ヒント：感染予防の方法は、一般的な風邪の予防と基本的には同じです（厚生労働省資料参照）。落ち着いて、丁寧に予防に取り組みましょう。過度に神経質になっている場合は安全感を保障し、甘えや不安の訴えにはその都度安心を与えてください。

#### (3) 経済的影響と、生活の変化によるストレス

休校の措置により、家庭にとっては経済的な不安、子どもにとっては生活空間の閉塞感によるストレスが大きいでしょう。

感染拡大の防止のための措置であるため、人の集まる場所等への外出を避け、基本的に自宅で過ごすように通知されています。大人も不安やイライラが募ってしまいましたが、それが家庭内で増幅しあわないように、気を付けましょう。適度な距離を取ることも必要です。限られた選択肢の中で、少しでも互いのストレスを分散できるように工夫する必要があります。

ヒント：家庭の中での過ごし方を話し合い、生活のリズムが崩れないように気を付けます。栄養のある食事、適度な運動、発散できるような楽しい活動を家族で見つけていきましょう。親子でともに時間を過ごせるときには、できるだけリラックスする時間を共有しましょう。子どもも沢山我慢しています。大人の愚痴を聞かせたり、イライラして叱りすぎないように気をつけましょう。非常事態ですので、いつもよりは大目に見てあげることも必要です。日常のちょっとしたことを褒めて、優しい言葉かけをしてあげてください。

保護者の皆様にとっては、先の見通しが立たないこと、子どもの見守りと仕事の負担、経済的な影響、活動の制限、在宅時間の長期化などで、十分に子ども達に目が向けられない個々の事情があると思います。ストレスをため込まないようにするためには、家族以外の友人、親戚など社会的なつながりを維持することが大切であると言われています。子ども達のことに関する不安は、学校にご相談ください。スクールカウンセラーが対応することができます。

参照・引用：北海道臨床心理士会 教育領域委員会

※ウイルス感染の検査や経済支援の制度などにつきましては、それぞれの自治体の窓口等にお問い合わせくださるようお願いいたします。

## <こころの問題についての相談窓口ご案内>

### ★スクールカウンセラー

・ 電話対応中心（在室確認のうえ相談室に繋いでもらう）

・ メール：[myamakita@fuzoku.edu.mie-u.ac.jp](mailto:myamakita@fuzoku.edu.mie-u.ac.jp)

（勤務時に返信しますので遅くなることがあります。ご了承ください）

・ 対面相談もあり（電話、メールで予約の上）… 休校期間中は保護者のみ

### ★日本臨床心理士会「新型コロナこころの健康相談電話」

期間：2020年4月20日から5月22日まで（緊急事態宣言の状況によっては期間変更あり）

期日：毎週月曜日～金曜日

時間：午前10時～12時及び午後7時～9時

**電話番号：050 - 3628 - 5672**（フリーダイヤルではありません。30分以内）

※この相談電話は回線の状況によって、聴きづらくなったり、途切れたりすることがあることをご承知ください。

### ★各自治体保健所 こころの相談窓口

休校期間が長引いております。学校が再開されても、新型コロナウイルス感染の危険が過ぎ去ることは当面期待できず、共存していくこととなります。ソーシャルディスタンスを確保することで身体は守られますが、一方でこころが閉塞感から危機に晒されることもあります。今は心身ともに未病段階を保つために外出自粛しています。子どもと居てイライラする時、先行きが不安な時、辛い時、苦しい時、寂しい時には誰かに話を聴いてもらい、心身ともに平穏を保っていきましょう。ご相談は遠慮されずにどうぞ。もちろん秘密は守られます。

